



令和3年9月1日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校

文責：校長 柿林 浩彦

第20号

第2学期始業式 学校長式辞

令和3年9月1日

校長 柿林 浩彦

今日から2学期が始まりました。交通事故や水の事故もなく、また、お盆には西日本豪雨に匹敵する大雨が降りましたが、蒲刈島・下蒲刈島では大きな被害もなく良かったです。

「自分の命は自分で守る」という言葉が今からも大切になっていきます。

さて、今年の夏休みはどんな夏休みとなりましたか？

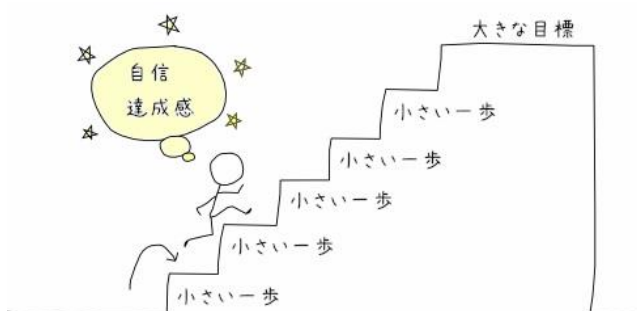
「部活動やスポーツ、家の手伝いを頑張った」、「勉強を頑張って、宿題を早く済ませた」、「趣味を楽しんだ」、「家族との時間がたくさんあった」など、様々な感想があると思います。1学期の終業式では、オリンピック・パラリンピックの理念について簡単に紹介しました。オリンピックの理念「オリンピズム」は、「スポーツによって心身ともに調和のとれた人間を育て、そのような選手たちが4年に一度世界中から集まり、フェアに競技し、異文化を理解しながら友情を育むことによって、平和な社会を実現する」です。また、パラリンピックの理念は、「スポーツを通じ、障がいのある人にとってよりよい共生社会を実現すること」です。オリンピックでは、日本選手団が今までで最高の数のメダル（58個）を獲得しました。皆さんもテレビで観戦し、たくさん感動したと思います。メダルを取ることだけが全てではありませんが、努力が報われたという選手もいれば、努力が報われなかったという選手もいることを知りました。世界ランク1位であっても、メダルに届かないことがたくさんあり、オリンピックには魔物が住んでいると言われることもよく分かりました。



オリンピックを見ていて、私がすごいと思うことは、とても精神力が強い選手がいるということです。一瞬の隙も与えずに一進一退の攻防があり、マッチポイントを握られてもあきらめず逆転できたなど、見ての方がドキドキしたと思います。

では、なぜ強い精神力が身に付いたのでしょうか。それは、自分に自信があるからです。そして、どのように自信をつけたのかというと、小さな成功体験を積み重ねたからです。

さらに、成功体験を積み重ねるにはどうしたらいいのでしょうか。それは、自分の強みを見つけて、その強みを普段の生活の中で生かすことです。だから、いろいろなことにチャレンジすることが大切です。チャレンジすると自分の強みをいろいろなところで生かすことができ、自分はいろいろなことができるんだと思うようになります。



ぜひ、2学期は、自分の強みを生かす場面がたくさん見られるようになってほしいと思います。

最後になりますが、新型コロナウイルスの感染が首都圏だけでなく、呉市でも拡大しています。変異種であるデルタ株は感染力が強いと言われています。今までよりも気を付けることは必要ですが、基本的な感染防止対策は今までと同じです。「まわりの人との距離をできれば2 m以上の確保すること」、「マスクを正しく着用すること」、「手指の消毒などを頻繁に行うこと」の3つの基本的な感染防止対策は確実に行っていきましょう。



9・10月の主な予定

9月2日（木）実力試験1日目（3年生）

9月3日（金）実力試験2日目（3年生）

9月6日（月）進路説明会（3年生）

9月21日（火）避難訓練（地震・津波）

10月16日（土）呉市新人大会

（予備日10月17日）

10月24日（日）小中合同学習発表会

10月25日（月）振替休日（10/24分）

